

第4章 自閉症のある生徒の課題と指導内容 ～課題整理表の作成～

1 中学部「社会性の学習」の課題整理表

課題整理表は、中学部段階の生徒が自閉症の障害特性から直面するであろう困難を整理することにより作成しました。指導書作成部会の部員が、日頃の指導等の中で課題として感じていることや指導してきたことを中心に、状況、生徒の学習上又は行動上の困難、障害特性から推測される理由、社会性の学習で取り組む援助方法・支援方法、活動例の項目に沿って整理を試みました。また、生徒の現在と将来の生活を踏まえ①学校生活編、②家庭生活編、③地域生活編、④職業生活編として、作成しました。

- (1) 状況とは、どのような状況のときに生徒が、困難に直面するかを示しました。
- (2) 生徒の学習上又行動上の困難は、どのような困難であるかを推測した内容です。
- (3) 障害特性から推測される理由の項目については、作業部会の部員が日頃の指導

から、自閉症の生徒が直面するかもしれない状況を生み出す理由は、自閉症の障害特性からどのような理由となるか、一つ一つの項目ごとに検討しました。その結果、推測される理由としてあげられた内容が、複数にまとめられることから、表1のように整理をしました。

＜表1 社会性の障害から推測される理由一覧＞

推測される理由
社会的状況の注目すべき刺激を選ぶことの困難さ
社会的状況の理解の困難さ
場に応じたコミュニケーションをすることの困難さ
社会的慣習の理解の困難さ
活動の見通しをもつことの困難さ
情動のコントロールをすることの困難さ
他者の気持ち等を理解する困難さ
活動ややり取りの因果関係を理解することの困難さ
曖昧な判断の理解をすることの困難さ
他者との協動的に活動することの困難さ

- (4) 上記の内容に対して、中学部の社会性の学習で取り組む援助方法・支援方法を示し、生徒のコミュニケーション能力や集団参加能力等の実態に応じて、指導の手掛かりとして3段階の活動例を示しました。この段階は大まかな学習のステップになるものと考えています。中学部段階になると生徒の課題は、対人関係とソーシャルスキルとして明確な課題が分かれるものではなく、相互的に関係してくる内容として整理しました。

この課題整理表は、作業部会の部員が指導している課題等から整理しているため、その他加えるべき課題もあり、整理も不十分な部分もあると考えます。今後の社会性の学習の実践が積み重なることで、一層充実した表として整理されることを期待しています。なお、今回整理をした中学部の生徒の学習上又行動上の困難の項目について、小学部の社会性の指導書で整理した「対人関係に関すること」と、「ソーシャルスキルの関すること」に分類して整理した表も掲載します。

2 中学部「社会性の」課題整理表 ～中学部段階で直面する困難から考える～

①「社会性の学習」課題整理表 <学校生活編>

状況	生徒の学習上又は行動上の困難	障害特性から推測される理由	社会性の学習で取組む援助方法・支援方法（手がかりや支援ツール）
1 集団による一斉指導中、予定の説明を聞いているとき	説明を聞き逃してしまったり困ってしまう。	社会的状況で注目すべき刺激に注目することの困難さ	○自分の名前を呼んだ指導者に注目する。 ○指導者のモデルに注目する。 ○指導者の説明をメモすることができる。
2 集団の中で役割分担をして行動するとき	何をしていいかわからず困ってしまう。	社会的状況の理解の困難さ 活動の見通しをもつことの困難さ	○モデルに注目する。 ○役割分担表に従って行動する。
3 みんなで道具を共有するとき(1)	他人が持っている道具を強引にとってしまったり、待っていたりして、仕事が滞る。	社会的状況の理解の困難さ 他者との協調的に活動することの困難さ	○物を借りるときに「貸してください」と言って借りる。 ○コミュニケーションカードの使用ができる。
4 みんなで道具を共有するとき(2)	交代で道具を使わず、自分の机においてしまったり、道具を持ち続けたりして仕事が滞る。	社会的状況の理解の困難さ 場に応じたコミュニケーションをすることの困難さ 他者との協調的に活動することの困難さ	○道具を置き場の道具を使って、順番カードの使用ができる。 ○使い終わったらすぐに返すことを覚える。
5 人と接するとき	人と適切な距離で話をするのができずに、近付きすぎてしまう。 (似た項目複数あり)	社会的慣習の理解の困難さ 他者の気持ち等を理解する困難さ 曖昧な判断の理解をすることの困難さ	○人と接するのに、ちょうど良い距離を知る。
6 学校生活で急に予定が変更されたとき	変更された予定が納得できないで混乱してしまう。	活動の見通しをもつことの困難さ	○スケジュール表の使用を学習する。 ○予定の変更を学ぶ。
7 ゲーム等で勝てなかったとき	勝てないと混乱してしまう。	情動のコントロールをすることの困難さ 活動のルールを理解することの困難さ	○勝てなかったことを受けとめられる。 ○勝ち負けカードの使用を覚える。
8 学習場面で修正、訂正の指示をされたとき	間違いを正されたりすると混乱してしまう。	情動のコントロールをすることの困難さ 活動のルールを理解することの困難さ	○他者の了解を得られたら終わることを知る。 ○間違えたら修正すれば良いことを受け止められる。 (修正指示カードの意味を理解する)
9 学習場面において	自分のやり方を変えられたことが受け入れられず混乱してしまう。	言葉の理解の困難さ 他者の気持ち等を理解する困難さ	○教師によって示された手順等に従って活動できる。

I 段階の活動	II 段階	III 段階
<p>○目の前の指導者に注視する。 ◆5人以下の小集団指導で、名前を呼ばれたときに指導者を見る。</p>	<p>○小集団で指導者を注視し、簡単な指示が分かる。 ◆小集団指導で、名前を呼ばれたときに、指導者の指示を聞き、モデルに注目し、簡単な行動をする。</p>	<p>○小集団で指導者を注視でき、説明を聞こうとする。 ◆小集団指導で、指導者の説明を聞き、予定や次の活動をメモをする。</p>
<p>○指導者（MT）を見て同じ動きをする。 ◆少し離れた場所にいるMTに注目する。5人以下のグループでMTに注目して同じ動きをする。</p>	<p>○小集団でモデルと役割分担表が分かる。 ◆リーダーになる指導者に注目する。小集団指導で、役割分担表を見て活動する。</p>	<p>○集団の中で役割分担表をみて活動する。 ◆集団指導で役割分担表を見て、自らいくつかの動きや活動を行う。</p>
<p>○カードで借りたい気持ちを伝える。 ◆「貸してください」カードを渡したり、読んで伝えたりして使いたい物を貸してもらおう。1対1で借りる練習をする。借りた時に「ありがとう」と伝える。</p>	<p>○相手に「貸してください」と言葉やカードで伝える。 ◆二人一組で行ない、二人に違う道具を渡し、物を貸し借りしなければならない状況を設定する。「どうぞ」「ありがとう」などの言葉が出るように教師が支援する。</p>	<p>○物を貸してもらうときに、待ったり、我慢して相手に譲ったりする。 ◆協同で制作し、相手に借りる状況を意図的に入れる。「貸してください」「どうぞ」などの場面に応じた表現を使う。</p>
<p>○人と交代で物を使えるようになる。 ◆簡単な手順で借りる⇒使う⇒返すの練習をする。タイマーを使い、時間がきたら返す。</p>	<p>○順番に道具を使えるようになる。貸し借りの手順を知る。 ◆道具使用順番カードなどで提示し、その順番で道具を使う。タイマー等を用い、時間がきたら返す。</p>	<p>○順番に道具を使えるようになる。貸し借りの手順を知る。 ◆道具貸し借りカードを使って、貸し借りの手順を知り、順番に道具が使える。</p>
	<p>○人と話をするときに適切な距離を保つ ◆いくつかの絵の中から社会的に好ましい話し方の絵を選択する。</p>	<p>○人との距離を知る。意識する。 ◆話すとき、混んでいるところ、歩くときなどの場面ごとにイラストや動画を見て、人との正しい距離を考えていく。</p>
<p>○予定の変更を受け入れる。 ◆決められたスケジュールの中で、該当部分の予定の変更を伝える。初めは、より好きな活動に変更することから始め、スムーズに予定変更に応じることができるようになる。</p>	<p>○直前まで活動内容が分からないことを理解し、受け入れる。 ◆故意に「？」の項目を予定表等をつくり、楽しめる活動などを取り入れる。予定の変更を繰り返し練習していく。</p>	<p>○自分で決めていいスケジュールとそうでないスケジュールがあることを知る。 ◆学校のスケジュールや授業の中で、予定を自分で決めていい部分を設定する。それ以外は先生が決めたスケジュールに従って行動ができるように促していく。</p>
<p>○簡単なゲームで自分の勝ちと相手の勝ちを交互に行うようにして、勝ち負けを理解する。 ◆勝ち負けカード（自分の勝ちと相手の勝ちがわかるカード）の使用を覚える。自分の勝ちカードの時にトークンをもらえる。</p>	<p>○勝敗が明確化しないゲームで、勝ち負けに慣れる。 ◆勝敗が個人によって明瞭になりにくいルールを活用し、勝ち負けカードの使用を覚える。</p>	<p>○勝ったり負けたりすることを理解し、気持ちを言葉で伝える。 ◆勝てなかったときの気持ちや勝ったときの気持ちをお互いに紙に書く。勝てなかったときには「次がんばろう」という言葉を引き出して納得できるようにする。</p>
<p>○他者の了解が得られたら終わりということを知る。 ◆指導者の終了の合図で終わりにしたり修正や訂正したものを、指導者が確認したら終わりにする。修正できたことをほめる。</p>	<p>○他者の了解が得られたら終わりという手順を知る。 ◆指示書を用い、活動の最後に「確認」の項目を入れる。指導者に確認を求め、了解が得られたら、終わりにする。</p>	<p>○訂正や修正を受け止め、最後まで落着いて行なう。 ◆修正が必要とき、修正指示カードを提示し、活動が切り替えられるようにする。</p>
<p>○決められた手順や数、時間通りに行う。 ◆写真カードやタイマー、量など具体的な手だてで、ルールや手順に従い活動する。（こだわりへの支援を行う。）</p>	<p>○正しい方法ややり方を守って、活動する。 ◆作業を要する活動など、決められた方法で、一つ一つ丁寧に行う。作業工程が確実にできるよう支援する。</p>	<p>○一定の時間、正しい方法や手順で確実に活動する。 ◆一定の量や時間、決められたルールに従って作業的活動を行う。結果よりも工程を重視していく。</p>

②「社会性の学習」課題整理表 <家庭生活編>

状況	生徒の学習上又は行動上の困難	障害特性から推測される理由	社会性の学習で取組む援助方法・支援方法（手がかりや支援ツール）
1 【余暇レジャー】 家庭で一人で過ごしているとき	一人である時に何をすればよいかわからず困ってしまう。	活動の見通しをもつことの困難さ 曖昧な判断の理解をすることの困難さ	○やりたい活動を選択して一定時間一人で続ける。
2 【余暇レジャー】 家族の予定と折り合いをつける（追加）	自分のやりたいことや行きたい場所に行けないと怒ってしまう。	活動の見通しをもつことの困難 他者の気持ち等を理解する困難さ	○自分の予定と家族の予定があることが分かり、納得する。 ○スケジュール表の使用を覚える。
3 【余暇レジャー】 家族と外出するとき	家族と一緒に外出するとパニックになったり大声を出し制止できない。	社会的状況の理解の困難さ 活動の見通しをもつことの困難さ 情動のコントロールをすることの困難さ	○様々な場所や人でも、指示に従うことができる。 ○ルールカード、外出メモや外出スケジュールの使用を理解する。
4 【余暇レジャー】 家族と家や外出先で過ごすとき	自分のやりたいように行動しようとする。	社会的状況の理解の困難さ 活動のルールを理解することの困難さ	○様々な場面で、スケジュールを手がかりに活動する。
5 【生活スキル】 家庭でお手伝いをするとき	自分のやり方で手伝いを行い、大人と一緒に活動できなくて困る。	活動の見通しをもつことの困難さ 他者との協調的に活動することの困難さ	○手順書を手がかりに場所や人が変わっても取り組む。
6 【生活スキル】 物を片付けるとき(物の管理)	物を種類ごとに整理することが難しい。	活動ややり取りの因果関係を理解することの困難さ 曖昧な判断の理解をすることの困難さ	○絵カードの写真による整理カードの使用を覚える。 ○種類ごとに整理することができる。
7 【生活スキル】 学校の持ち物を準備するとき	授業で使うものを理解して、自ら持ち物をカバンに入れることが難しい。	活動の見通しをもつことの困難さ	○毎日の予定と持ち物を理解して準備をし自らカバンに入れる。
8 【生活スキル】 特定の人に電話をするとき	一方的に内容を伝えるだけでやりとりができない。	他者との協調的に活動することの困難さ	○相手とやり取りをして電話ができる。

I 段階の活動	II 段階	III 段階
<p>○好きな活動に一定時間取り組む。 ◆好きな活動を時間を決めて取り組む。徐々に時間を伸ばしていき安全に一人で過ごせるようにする。</p>	<p>○休憩時間に複数の活動に取り組む。 ◆休憩の内容を提示して2～3種類の余暇活動を選び順番を決めながら教員と一緒に予定を組み立て、その通りに取り組む。</p>	<p>○決められた時間と状況の中で適した活動に取り組む。 ◆過ごし方の選択肢が限られた中で、提示された時間まで、適切な過ごし方を自ら選択して取り組む。</p>
<p>○やりたいことを一部選択する。 ◆1日の予定の中で自己選択できる休憩時間と、選択できない休憩時間を提示する。予定の選択できる時間部分に、休憩の選択肢を事前に提示し選ぶようにする。</p>	<p>○自分で決めて良い予定と、決められない予定があることが分かる。 ◆家族の1週間の予定を見ながら、決まっている予定と、これから自分で決めることができる予定を本人が分かる形で記入する。</p>	<p>○家族の予定を配慮して誰とどこに行くのか決める。 ◆家族の1か月のスケジュールを見て誰とどこに行くのか相談しながら決定する。</p>
	<p>○ルールカード(外出メモ)を確認して約束を守ることができる。 ◆写真や文字によるルールを事前に確認し(静かにする、歩くなど)活動する際にも確認しながらルールを守るようにする。できたら評価があるようにする。</p>	<p><実生活場面> ○学校以外の場所や担任以外でもルールを守って行動する。 ◆事前にルールを文字等で決め、自ら確認しながら活動できるようにする。守ることができたらメリットがあるなど機能的な意味付けで評価する。</p>
<p>○身近な大人と一緒に予定通りに活動する。 ◆生徒の理解できるスケジュールを用意し示された予定通りに活動する。スケジュールの操作と理解を覚える。</p>	<p>○担任以外の大人と教室以外の場所で予定通りに活動する ◆担任以外の大人と教室以外の場所でスケジュール通りに活動する。スケジュールを手がかりに自ら確認しながら活動できるようにする。 (※家庭との事前確認が必要)</p>	<p><実生活場面> ○外出先や移動教室等で一人でスケジュール通りに活動する。 ◆学校以外の場所で、スケジュールを手がかりにして自ら活動できるようにする。 (※家庭との事前確認が必要)</p>
<p>○簡単な指示書を見て活動をする。 ◆子供の理解に合わせた指示書を準備し、指示書を手がかりにして係り活動ができるように身近な大人が支援する。</p>	<p>○担任以外の大人と一緒に指示書を見て活動する。 ◆担任以外の大人と一緒に指示書を手がかりにして係り活動を行う。人ではなく、指示書を手がかりにできるようにする。</p>	<p>○違う場所で指示書を使って一人で活動する。 ◆教室以外の場所で、文字による指示書を手がかりに一人で係り活動(洗濯・洗い物等)を進めていく。</p>
<p>○写真や文字と服の種類を一致させる。 ◆半袖、ハーフパンツなどのカテゴリ分けができるようにする。</p>	<p>○ラベリングされた所に服等を片付ける。 ◆文字や写真を見て種類ごとに引き出し等にしまう。</p>	<p>○整理図を見て片付ける。 ◆文字や写真で示された整理図通りに物を片付ける。</p>
<p>○離れた場所から物を持ってくる。 ◆写真カード等を見て、同じ物を離れた場所から持ってくる。</p>	<p>○担任と一緒に指示書を見て持ち物を準備する。 ◆1日の予定と持ち物の一覧表を生徒の分かる形で提示し、それを手がかりにしながら持ち物を準備できるようにする。自ら指示書を手がかりにできるように支援する。</p>	<p><実生活場面> ○指示書を手がかりに家庭から持ち物を持ってくる。 ◆次の日の予定と持ち物一覧を学校と家庭で共有し、一人で準備ができるようにする。 (※家庭との事前確認が必要)</p>
<p>△</p>	<p>○台本どおりに電話で相手に伝える。 ◆手順書や台本を手がかりに、最低限必要な事項を相手に伝える。</p>	<p>○相手の簡単な質問に答える。 ◆質問された内容に答える練習をする。「場所、周囲の状況等」を伝える。</p>

③「社会性の学習」課題整理表 <地域生活編>

	状況	生徒の学習上又は行動上の困難	障害特性から推測される理由	社会性の学習で取組む援助方法・支援方法（手がかりや支援ツール）
店舗	1 支払いのとき	○買い物でお金が支払えない。	活動ややり取りの意味を理解することの困難さ 他者との協動的に活動することの困難さ	○品物を出す、お金を支払う、おつりを受け取るなどの活動の流れを理解する。
		○列に割り込む。 ○買い物等で列に並べない。	社会的状況の理解の困難さ 活動のルールを理解することの困難さ	○列の最後尾に並ぶことができる。 ○順番を待つことができる。 ○マナーカードの使用を覚える。
	3 商品を選んでいるとき	○購入前の商品に口を入れる。 ○肉のパック等に指を立てる。	社会的状況の理解の困難さ 社会的慣習の理解の困難さ	○お店の中では商品に手を触れないルールを身に付ける。 ○マナーカードの使用を覚える。
	4 店舗内を歩いているとき	○通路に座り込んでしまう。	社会的状況の理解の困難さ 社会的慣習の理解の困難さ	○座っていい場所、いけない場所の区別を付ける。 ○マナーカードの使用を覚える。
公共施設	5 病院、図書館、金融機関、郵便局等を利用するとき	○待合室等で待つことができない。	活動の見通しをもつことの困難さ 曖昧な判断の理解をすることの困難さ	○名前を呼ばれるまで待つことができる。 ○呼出し番号のルールを理解し、行動する。
		○椅子に座ることができずに大声をあげて廊下を走り回る。	社会的状況の理解の困難さ 社会的慣習の理解の困難さ	○静かに過ごすことができる。 ○マナーカードの使用を覚える。
公共交通機関	6 混雑して席に座れないとき	○すでに座っている他の乗客を叩こうとする。 ○座っているほかの人の膝の上に乗ろうとする。座りたいと言いつける。	社会的状況の理解の困難さ 社会的慣習の理解の困難さ 情動のコントロールをすることの困難さ	○混雑した車内では立っていることができる。 ○社会的ルールに適した気持ちの切り替え方法を身に付ける。 ○マナーカードの使用を覚える。
	7 乗車中やホーム等で待っているとき	○他の乗客を押しつけて移動する。	社会的状況の理解の困難さ 社会的慣習の理解の困難さ 他者の気持ち等を理解する困難さ	○他の乗客に触れずに移動できる。 ○「ちょっとすみません」と言うことができる。
全般	8 外出しているとき	○見知らぬ人の体に触る。（つかんだり、叩いたりする）	社会的状況の理解の困難さ 社会的慣習の理解の困難さ 他者の気持ち等を理解する困難さ	○見知らぬ人に触れずに行動できる。
		○必要以上に大きな声で話をする。	社会的状況の理解の困難さ 社会的慣習の理解の困難さ	○状況に応じて声の大きさを調整することができる。 ○声の段階表の使用を覚える。 ○「静かにしようカード」の使用を覚える。
	9 面識の少ない人にしかける必要があるとき	○必要以上に近づいて話しかける。	社会的状況の理解の困難さ 社会的慣習の理解の困難さ 他者の気持ち等を理解する困難さ	○適切な距離でやりとりできる。

I 段階の活動	II 段階	III 段階
<p>○お金や品物のやり取りができる ◆人にお金を渡す、人から物を受け取るという練習を行う。</p>	<p>○お金を支払う、品物、おつりを受け取るというルールを覚える。 ◆買い物時のルールを視覚的に提示し、買い物シミュレーションを通して一人で買い物ができるようにする。</p>	<p>○買い物時の適切なコミュニケーションがとれる。 ◆買い物時の会話文をカード等で示して覚える。</p>
<p>○指導者（支援者）と一緒に列に並ぶことができる。 ◆校内でのシミュレーションを通して、列に並ぶ経験をする。</p>	<p>○列の最後尾に並ぶことができる。 ◆列に並ぶときのルールを提示し、最後尾に並ぶ練習を行う。</p>	<p>○様々な状況の中でも列に並ぶことができる。 ◆いろいろなパターンの列でも最後尾を探す練習をする。マナーカードを活用しマナー良く買い物をする。</p>
<p>○店内で物に手を触れずに行動できる。 ◆介助者とともに落ち着いて行動する練習を行う。</p>	<p>○店内で物に触れずに行動できる。 ◆マナーカードを活用し、物に触らないルールを覚え、一人で行動する練習を行う。</p>	<p>○商品の丁寧な扱いなどマナー良く買い物できる。 ◆マナーカードを活用し、商品の扱い方、買うものを扱い方などのルールを学ぶ。</p>
<p>○店内で立って行動できる。 ◆指導者（支援者）と一緒に適切な行動を身に付ける。</p>	<p>○店内で立って行動できる。 ◆店内での行動の仕方のルールを提示し（マナーカード）、立って行動できるように練習する。</p>	<p>○店内で立って行動できる。 ◆ベンチ等、座っていい場所を理解し、それ以外では立って行動できる。</p>
<p>○指導者（支援者）とともに名前を呼ばれるまで待つことができる。 ◆名前を呼ばれたら前に出て活動する場面を設定し、指導者と活動する。</p>	<p>○名前を呼ばれたら前に出ることができる。 ◆名前を呼ばれたら前に出て活動する場面を設定し、一人で出ることができる。</p>	<p>○自分の持っている番号が呼び出されたら前に出ることができる。 ◆名前を呼ばれたら前に出て活動する場面を設定し、番号カードを配布し、番号で呼び出しを行う。</p>
<p>○指導者（支援者）と一緒に、好きな事をしながら静かに過ごせる。 ◆自分の好きな物を利用して静かに行動する練習をする。</p>	<p>○視覚的な事前のルール提示で、待合室で静かに過ごせる。 ◆マナーカード等で事前ルール確認を行い、静かに行動する練習をする。</p>	<p>○静かにしなくてはいけない場所を理解し、静かに過ごすことができる。 ◆静かにすべき場所を何例か明示し、実際の場面で練習する。</p>
<p>○指導者（支援者）と一緒に、吊革や手すりにつかまって移動できる。 ◆交通機関を利用する際に、吊革や手すりを利用する経験を積む。</p>	<p>○視覚的に目的地まで「立つ」ことを理解し、指導者と一緒に、吊革や手すりにつかまって移動できる。 ◆マナーカードを活用し事前のルール確認を行い、目的地まで吊革や手すりを利用する経験を積む。</p>	<p>○視覚的に目的地まで「立つ」ことを理解し一人で、吊革や手すりにつかまって移動できる。 ◆マナーカードを活用し事前のルール確認を行い、目的地まで吊革や手すりを利用する経験を積む。</p>
<p>○指導者（支援者）の身体的誘導で、相手との距離を保つ。 ◆指導者（支援者）の身体的誘導、「ストップ」など合図で、行動を調整できる練習をする。</p>	<p>○相手にぶつからないように移動できる。 ◆構造化された状況で、狭いスペースでの身体の動かし方を練習する。（隙間の通り抜けなど）</p>	<p>○相手に「すみません」と声をかけ、ぶつからないように移動できる。 ◆構造化された状況で、狭いスペースでの身体の動かし方、相手への声のかけ方を練習する。</p>
<p>○指導者（支援者）の身体的誘導で、相手と一定の距離を保つ。 ◆指導者（支援者）の身体的誘導、「ストップ」など合図で、行動を調整できる練習をする。</p>	<p>○指導者と絵カード等でルールを確認し、相手と一定の距離を保てる。 ◆絵カード等、視覚的なルールやフラフープ等構造化された状況を手掛かりに相手との距離を保つ練習をする。</p>	<p>○指導者（支援者）の絵カード等でのルール提示で相手との距離を保つ。 ◆絵カード等、視覚的なルールやフラフープ等構造化された状況を手掛かりに相手との距離を保つ練習をする。</p>
<p>○“静かに”カードの意味が分かる。 ◆静かにする場面でカードを提示し、静かにできたときにすぐ評価をする。</p>	<p>○声の5段階表で、状況ごとの声の大きさを理解する。 ◆声の5段階表を生徒と一緒に作成し、様々な場面の声の大きさを分類する。学習のたびに、現在の声の大きさを確認するようにする。守ることができたら、その都度評価する。</p>	<p><実生活場面> ○声の5段階表を見て学校以外でも声の大きさを調整する。 ◆学校以外の場所で、声の5段階表で適切な声の大きさを確認し、自ら調整する。</p>
<p>○指導者（支援者）の身体的誘導で、相手との距離を保つ。 ◆指導者（支援者）の身体的誘導、「ストップ」など合図で、行動を調整できる練習をする。</p>	<p>○指導者（支援者）のルール提示で相手との距離を保つ。 ◆絵カード等、視覚的なルールやフラフープ等構造化された状況を手掛かりに相手との距離を保つ練習をする。</p>	<p>○他者（異性）との適切な、距離感を理解して相手と接することができる。 ◆絵カードや状況カードを使用し、社会的に受け入れられる行動を選ぶ練習をする。</p>

④ 「社会性の学習」課題整理表 <職業生活編>

	状況	生徒の学習上又は行動上の困難	障害特性から推測される理由	社会性の学習で取組む援助方法・支援方法（手がかりや支援ツール）
卒業後の場面	1 担当者が変更になったとき	○指示の出し方の違いが受け入れられず困る。	社会的状況で注目すべき刺激を選ぶことの困難さ 他者との協調的に活動することの困難さ	○担当が変わっても指示を受け入れることができる。 ○指示書の使用を覚える。
	2 仕事の修正、訂正の指示をされたとき	○仕事の修正や訂正が受け入れられず混乱してしまう。	情動のコントロールをすることの困難さ 活動のルールを理解することの困難さ	○手順表の使用を覚える。 ○できたものを点検することができる。 ○指示書の使用を覚える。
	3 お給料(報酬)があるとき	○報酬を励みに働くことが難しい。	活動ややり取りの意味を理解することの困難さ	○報酬を期待して働くことができる。 ○トークンの理解ができる。
	4 作業の途中で終わりの時間がきたとき	○作業を終わりにできないで、混乱してしまう。	活動の見通しをもつことの困難さ	○終わりのカードの使用を覚える。 ○スケジュール表の使用を覚える。
	5 仕事の終わりを報告するとき	○いつ、誰に、どのような方法で報告するか分からない。	社会的状況の理解の困難さ 他者の気持ち等を理解する困難さ	○課題終了時に報告ができる。 ○報告の手順やタイミングを知る。 ○できましたカードの使用を覚える。
	6 仕事の作業中に困った状況になったとき (機械のトラブルなど)	○誰に、どのように伝えればよいのか分からずに、混乱してしまう。	社会的状況の理解の困難さ 他者の気持ち等を理解する困難さ	○困った時のヘルプカードの使用を覚える。 ○困ったときに伝えることができる。

I 段階の活動	II 段階	III 段階
<p>○担当者の変更を受け入れる。 ◆場面が構造化された環境で、通常担当していない指導者と一緒に同じ課題などの活動を行う。落ち着いて活動できたときには評価し、また担当からも大いに賞賛する。</p>	<p>○活動ごとの担当の変更を受け入れる。 ◆場は固定して構造化された状態を保ったまま、活動によって担当者を変えて取り組む。</p>	<p>○指定された担当者に従う。 ◆内容によって担当を変える。指示書に内容毎の担当を提示して、それを手がかりに自分で担当者とのやり取りができる。</p>
<p>○見本や手順表通りに作業ができる。 ◆工程の少ない手順表通りに作業ができるようにする。</p>	<p>○見本との違いが理解できる。 ◆一つのを製作する中で、担当と一緒に細かい段階で見本と同じにできているかの確認をしながら進める。</p>	<p>○できたものを点検することができる。 ◆完成したものを点検表に従って点検する。また、友達が取り組んだものを点検する役割を任せて、同じにできているかを判断できるようにする。</p>
<p>○仕事をする御褒美があることが分かる。 ◆仕事（活動）を行ったら、すぐに御褒美（好きなもの）をあげ、御褒美を期待して活動することができるようにする。</p>	<p>○トークンを貯めて御褒美を得ることができる。 ◆1回の活動ごとにトークンを渡し、貯まると御褒美を受け取れるようにする。徐々にいくつかの御褒美の中から好きなものを選んで交換できるようにする。</p>	<p>○貯めたトークンをお金に交換して、好きなものを買うことができる。 ◆1回の活動ごとにトークンを渡し、貯まった数に応じた金額に交換する。得たお金で好きなものを買う学習につなげる。</p>
<p>○終わりの時間を意識できる。 ◆約束の時間を音やタイムタイマーで提示し、時折それらに意識を向けるような言葉かけをする。音が聞こえたらすぐに活動を終わりにし、「すぐに」できたことを賞賛する。</p>	<p>○視覚支援で活動を終わることができる。 ◆個別に特設した時計と事前に活動の終了時刻を提示する。終了時刻近くになったら時計を注目できるように促す。終了時刻になったら終わりにする。</p>	<p>○壁かけ時計を見て活動を終わりにする。 ◆時間によるスケジュールを提示する。終了時刻近くになったら時計に注目するように促していき、徐々に自分で時間を意識しながら活動に取り組む学習をする。</p>
<p>○課題終了時に報告ができる。 ◆簡単な作業の中で、指示に従ってできましたカードを前（近く）にいる担当に提示する。徐々に指示を減らしていく。</p>	<p>○報告の方法を知り、適切に言えるようになる。 ◆手順表を活用する。手順表内の報告の必要な箇所に報告カードや言葉を提示しておき、それを見て自分から報告できるようにする。</p>	<p>○必要な時に、離れた大人のところへ報告に行くことができる。 ◆報告するタイミングは予め伝えておき、報告の場面になったら、支援なしで離れた所にいる担当者まで報告に行く。</p>
<p>○困ったときに伝える手順を知る。 ◆困ったときのカードを作り、その状況になったときにカードを指したり、近くの担当に渡すと、その状況から解放されることを理解する。</p>	<p>○困っていることを伝えることができる。 ◆活動中に人に伝える必要のある状況を設け、「手伝ってください。」「わかりません」など、担当者にカードを持って行ったり、言葉で伝えたりできるようにする。</p>	<p>○何に困っているのかを伝えることができる。 ◆活動の中に伝える必要のある状況を設け、離れた所にいる担当者に適切な表現や方法で伝える。言葉や具体物を使って何に困っているのかを伝えられるようにする。</p>

3 対人関係とソーシャルスキルに関することから分類した整理表

内容			内容	中学部の課題(生徒の学習上又は行動上の困難)
対人関係に関する こと	(ア)人への 対応の仕 方の理解 と具体 的な行 動	①身近な人の存在の意識と人を介した行動 ②人の名前・顔・表情等の弁別 ③挨拶・許可・禁止・依頼等の言葉の理解、対応、表現 ④人からの期待の理解 ⑤周りの人に合わせた行動	身近な人の理解 ・他の人の存在を意識する。 ・人とやり取りして行動する。	
	(イ)状況への 対応の仕 方の理解 と具体 的な行 動		他の人や状況の理解と行動 ・他の人からの期待に応じた行動 ・場面に応じた行動	○他人が持っている道具を強引にとってしまったり待っていたりして、仕事が滞る。 ○一方的に内容を伝えるだけでやり取りができない。 ○指示の出し方の違いが受け入れられず困る。 ○仕事の修正や訂正が受け入れられず混乱してしまう。 ○いつ、誰に、どのような方法で報告するか分からない。
ソーシャルスキルに関する こと	(ア)役割のある 行動の理 解と具 体的な 行動	①状況に応じた適切な行動 ②因果関係の理解 ③順番やルールの要素の理解と行動 ④役割行動への評価の理解 ⑤地域や職場など学校以外の場所でのその場にあった適切な行動 ⑥状況に合わせた自分の行動の管理・調整(セルフ・マネージメント)	周りの人に合わせた行動 ・人と行動を共有できる。 ・役割の理解と行動	○(集団活動場面で)説明を聞き逃してしまって困ってしまう。 ○(集団活動場面で)何をしたいか分からず困ってしまう。 ○交代で道具を使わず道具を持ち続けたりと仕事が滞る。 ○自分のやり方で手伝いを行い、大人と一緒に活動できなくて困る。 ○見知らぬ人の体に触る(つかんだり、叩いたりする)。 ○(他人と話すとき)必要以上に近づいて話しかける。 ○誰にどのように伝えればよいのか分からない。
	(イ)社会的 マナーの 理解と具 体的な行 動		役割活動	
	(ウ)ルール の理解と 具体的 な行動		御用学習	
			順番の理解	
			移動・ 交通ルール	○通路に座り込んでしまう。 ○(電車やバスで)他の乗客を押しつけて移動する。
			公共施設・ 交通機関 の利用	○待合室等で待つことができない。 ○椅子に座ることができず大声を上げて廊下を走り回る。 ○すでに座っている他の乗客を叩こうとする。 ○座っている他の人の膝の上に乗ろうとする。
			マナー	○話をする時に人と適切な距離で話をするに、困難がある。 ○外出するとパニックになったり大声を出し制止できない。 ○必要以上に大きな声で話をする
			買物の手 順・金銭 の支払い	○買い物でお金が支払えない。 ○列に割り込む。 ○買い物等で列に並べない。 ○購入前の商品に口を入れる。 ○肉のパック等に指を立てる。
			挨拶	
			身近な道具 や用具の 使用	
			スケジュール (見通しを 持つ)	○変更された予定が納得できないで混乱してしまう。 ○授業で使うものを理解して自ら持ち物をカバンに入れることが難しい。 ○作業を終わりにできないで、混乱してしまう。
			活動の切り 替え	○自分のやりたいことや行きたい場所に行けないと怒ってしまう。
			称賛の理 解	○報酬を励みに働くことが難しい。
	因果関係 の理解	○勝てないと混乱してしまう。 ○間違いを正されたりすると混乱してしまう。 ○自分のやり方を変えられたことが受け入れられず混乱してしまう。 ○自分のやりたいように行動しようとする。 ○物を種類ごとに片付けることが難しい。 ○気温(状況)に応じた服を準備することが難しい。		
	休憩	○一人でいるときに何をすればよいかわからず困ってしまう。		

小学部の社会性の指導書で整理した「対人関係に関すること」と、「ソーシャルスキルの関すること」に分類して、今回の課題整理表の内容を整理した表